

# OKIU

50<sup>th</sup>  
anniversary  
since 1972

MAGAZINE





- 4 沖繩国際大学  
創立50周年記念式典の報告
- 10 特集1  
写真から見る沖国大の今昔  
[空撮編・地上編]
- 14 特集2  
History of 沖国大
- 24 創立50周年記念  
WEBサイトがオープンしました
- 26 特集3  
学生会館オープン
- 32 第50回沖国大祭レポート
- 38 OKIU青春白書  
～活躍する学生たち!～
- 42 OKIU研究室探訪
- 46 キャリア支援情報
- 50 NEWS TOPICS  
ニューストピックス
- 58 クラブ・サークル紹介
- 62 学生サークル実績
- 63 人事情報
- 64 大学行事案内



これまでの  
**感謝**と、  
新たな  
**出発**の年へ

1972年2月25日の創立から50年。これからも「地域に根ざし、世界に開かれた大学」として、社会とつながり、未来を創り続けます。

50<sup>th</sup>  
anniversary  
SINCE 1972



沖繩国際大学の校章は、1973（昭和48）年7月7日に制定されました。校章は、沖縄県花のデイゴの花びらがペンを抱いている形です。また、ペンは、学問研究と教育の場を象徴し、デイゴの力強い真紅の花びらはその意欲と情熱を表わしています。全体の円形は、友情と平和を示しています。



# 沖縄国際大学 創立50周年記念式典の報告

2022年2月25日(金)午後2時より、本学講堂兼体育館にて、「沖縄国際大学創立50周年記念式典」が挙行されました。新型コロナウイルス感染防止の観点から規模を縮小し、本学関係者に限定しました。

式典では、本学卒業生で東京2020オリンピック・パラリンピックに出場した、喜友名諒・喜納翼両選手の活躍に栄誉を称え、「卒業生栄誉賞」の表彰を行いました。また、本学の発展にご尽力いただいた2名の元理事へ記念

品贈呈を行いました。その他、沖縄県知事の玉城デニー氏、日本私立学校振興・共済事業団理事長の清家篤氏、日本私立大学協会会長の小原芳明氏より祝辞が寄せられました。

## 過去の式典の様子



創立10周年式典(1982年12月25日)



創立20周年式典(1992年2月29日)



創立30周年式典(2002年2月25日)



創立40周年式典(2012年2月25日)



沖繩国際大学理事長・学長

## 前津 榮健

本日、多数のご来賓をお招きし、沖繩国際大学創立50周年記念式典を挙げてまいります。本学にとりましてこの上もない喜びであります。この喜びを皆様と共有できることに感謝いたすと共に、これまでのご厚情に心からお礼申し上げます。

本学は、1972年(昭和47年)復帰直前の2月25日、当時の沖繩大学の一部と国際大学を統合して設立されました。特筆すべきことは設立基金として、当時の文部省から沖繩県私立大学統合設備費補助金10億円が交付され、さらに日本私学振興財団から特別長期融資4億4千万円を受けたことです。これらの資金を基に、大学誘致を議決した宜野湾市市議会、宜野湾市および宜野湾区民のご理解とご協力を得て校地約11万6千平方メートルを取得し、校舎建築に着手、プレハブ仮設校舎にて、同年5月1日より授業が開始されました。

1972年5月15日の日本復帰を目前に沖繩における私立大学統合・存続問題をめぐって議論が渦巻く中、沖繩における大学教育の転換と発展を理念に本学は誕生したのであります。

設立趣意書によると、「戦後沖繩の社会が幾重にも負った桎梏に耐えながらたどった歴史の道程」を踏まえ、「住民と社会が常に叫び、常に求めてきた真の自由と、自治の確立の執拗な追及」をすることが、「沖繩の私立大学」としての本学の存在意義とされております。この設立趣意書を踏まえた「真の自由と、自治の確立」という精神を尊び、初心に立ち返ることを強く心に刻みたいと思います。

創立50周年という大きな節目に、本学の設立にご尽力された初代理事長・学長故安里源秀先生および設立理事故大濱信泉先生のご功績とご遺徳をあらためて偲び、永遠に感謝の意を表したいと思います。また、これまで本学の発展にご貢献くださった、後援会、校友会をはじめとするすべての皆様にも心から感謝申し上げます。

本学は創立以来、歴代学長のご尽力の下で幾多の困難を乗り越えつつ、改革に挑戦してまいりました。開学当初、一部3学部6学科、短大4科、二部3学部6学科、短大4科、学生数2984名の規模でしたが、現在では、4学部10学科、大学院3研究科5専攻、4研究所を擁する規模となり、専任教員133名、専任職員81名、学生数は、学部、大学院併せて5281名に達しております。

本学は、「地域に根ざし世界に開かれた大学」をキャッチフレーズに国際交流にも力を入れており、現在、海外11の国と地域に15の大学と学術交流協定を結んでおり、学生や教職員が活発に交流を深めております。

また、国内の諸大学との間に単位互換協定を結び、学生の自由な選択で沖繩とは異なる環境の下で学修できる制度も整えております。

現在、7大学と協定を締結しております。

本学は、創立以来すでに5万6千人余の学生を輩出しています。これらの卒業生が、県内外をはじめ国外でも、金融、流通、保険、福祉、教員、公務員、文化・芸術等様々な分野で活躍しています。本学卒業生の活躍に対する社会的評価も年々高まり、我々教職員一同喜びに耐えない次第です。

学修環境の充実が教育・研究にとって不可欠であります。本学は、開学当初プレハブの仮設校舎でスタートし、その後順次教室・研究棟、図書館・体育館・本館等を整備しましたが、現在では、これらの施設はすべて建て替わり、キャンパスも設立期とは大きく様変わり致しました。昨年3月には、学生食堂、カフェ、コンビニエンスストアが入った待望の学生会館が完成し、学生、教職員の福利厚生施設となっております。

本学にとって大きな衝撃を与え本学の歴史に瑕瑾を残したのは、2004年8月13日の普天間基地所属のヘリコプターが本学本館に墜落炎上した事件です。学生、教職員、市民、県民を恐怖に陥れてから、今年で18年目を迎えます。あの日の墜落現場の惨事と米軍の理不尽な事故処理に対する市民、県民の憤懣やらかな強い憤りが、時間の経過と共に薄れていくことも残念ながら現実でもあります。しかし、普天間基地の撤去は、日米両政府で合意されたことであり、改めて、普天間基地の撤去と大学上空の飛行中止を強く求めます。

本学の使命は、沖繩の発展に貢献するために(1)アジアの十字路に位置する沖繩のポテンシャルを活かし、万国津梁の魁となる人材を育成し、(2)沖繩の個性を発揮させる研究・地域連携を行うことにあります。また、教育目標として、(1)アジアを中心とする国際社会と対話し、理解し発信する能力を育成する教育、(2)「沖繩」を見つめ探求し、地域と協働する経験

を蓄積させる教育、(3)夢を描き実現する力、環境変化に適応できる力、すなわち人間力を培う教育を掲げております。

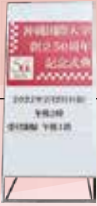
本学はこれまで地域貢献の一環として、宜野湾市、宜野湾市教育委員会、沖繩税理士会、日本トランスオーシャン航空および琉球エアコミューターとの包括協定を締結し、また4研究所も地域と連携し、地域研究に積極的に取り組んでまいりました。

ご承知のように、2020年春からの新型コロナウイルス感染症の拡大は、大学にも多大な影響を与えました。本学は学生及び教職員の「健康と命」、「学修機会の保障」のため危機管理対策本部を設置し、感染防止策、学修環境を整えてきました。遠隔授業に対応するために、特例授業修学支援奨学金の支給、奨学金の拡充、パソコン貸与等を行ってまいりました。このような学生、教職員の尽力や貢献は、ウィズコロナ、アフターコロナを考えると、決して無駄にはならないものと確信いたします。

結びに、沖繩国際大学は、先人が辿られた道程を忘れることなく、これからも「教育の質の向上」を通じて、人間力を基に知識とコミュニケーション能力を身に付け、複眼的視点で地域や万国津梁の魁となる人材の育成と地域社会の発展に教職員一同さらに尽力し、次の50年に向け邁進することをお誓い申し上げます。



# 創立50周年 式典の様子



ここでは、創立50周年の様子を写真で報告させていただきます。



謝辞を読み上げる小柳副学長



閉式の挨拶をする西岡教務部長



校歌を演奏する吹奏楽部と斉唱する琉球芸能文学研究会



佐喜眞淳元本学理事へ感謝状を贈呈



喜納翼さんへ卒業生栄誉賞



喜友名諒さんへ卒業生栄誉賞



挨拶する喜納翼さん

挨拶する喜友名諒さん

また、本学50年の歴史を振り返ったパネル展を同時開催いたしました。開学前の本学用地確認、建設現場説明、開学期の学生募集ポスター、年代ごとの本学敷地の空撮写真や、本学の設置認可申請書(写:本学保管用)、校歌レコードなどの展示を行いました





特集1

# 写真から見る沖国大の今昔 空撮編

50年を記念して、空から見た沖国大の写真を集めてみました！



1973年頃、奥に完成したばかりの旧3号館と5号館。手前にプレハブ校舎がまだ残っています。

1973

1977

1977年頃 本館、図書館、体育館が出来上がり大学のキャンパスらしい様相になりました。



1986

1986年頃、1980年に7号館が竣工。1985年にサークル棟、1986年に9号館が完成しました。



1993

1993年頃、情報化教育の頭脳、国際化に向けてより効率をあげる語学教育施設の充実のため、創立20周年事業の一環とし現5号館を建設しました。



1998

蔵書数の増加に対応するため、図書館を改築しました。

2006

2003年に体育館、2006年に本館の建て替えを行いました。



現在

2009年に13号館(大学院棟)を建設、2016年に老朽した旧3号館を建て替え、2021年に学生会館を新築し、充実した教育施設を整備しました。また、グラウンドも全天候ウレタン舗装にしました。



特集1

# 写真から見る沖国大の今昔 地上編

大学に残っている記録写真から、今と開学当時をご紹介します。



現在



1974

1974年頃の正門



現在(野球場付近)



1972

1972年(開学直前)。校歌1番に「♪宜野湾森に 簞え立つ」とありますが、本学周辺が原頭だったことがわかる一枚です



現在(学生会館)



1975

1975年9月30日に構内食堂がオープン



現在(第一駐車場付近)



1974

1974年11月頃、第一駐車場付近長田交差点に向かう



現在(真栄原交差点)



1974

1974年頃、嘉数中学校(左)付近から真栄原交差点に向かう



現在(宜野湾小学校近辺)



1973

1973年5月頃、宜野湾小学校付近から長田交差点に向かう。1978年の道路交通法変更(730(ナナサンマル))前なので、右側通行なのがわかる。



キャンパスの中通り  
(現在の第一駐車場出口付近)

現在のグラウンド付近

現在の第一駐車場

道路の先は長田交差点に続く

特集2

# HISTORY OF 1972 >>> 2022

# 沖縄 国際 大

この写真は1972年の開学から間もないころの沖縄国際大学で、現在の第一駐車場出口付近から撮影された写真です。写真右手にプレハブ施設がありますが、開学当時はここで授業をしていたそうです。この写真からもわかるように、本学はプレハブ仮設校舎で開学を迎え、授業と並行して大学施設の建築と構内整備を行い、学園としての様相を整えてきたそうです。

現在、約5,500名の在学学生を抱え、これまでに約57,000名の卒業生を輩出してきた本学は、創立当初の様々な困難を乗り越え、今日に至っています。

創立50周年を記念し、沖縄国際大学の歴史について、みなさんに知って頂くために紹介します。



## 復帰前の沖縄の私立大学

沖縄に大学が設立されたのは、戦後のことです。1950年に米国琉球軍政府によって琉球大学が設置されました。琉球大学の開学により、沖縄における高等教育に対する社会的ニーズの高まりをみせます。

その高まりの中、社会のニーズに応えるべく琉球政府の認可の下、最初に設立された私立大学が沖縄短期大学(1958年、のちの沖縄大学)、その後沖縄キリスト教短期大学(1959年)、国際大学(1961年)、沖縄女子短期大学(1966年)が順に設立されていきました。

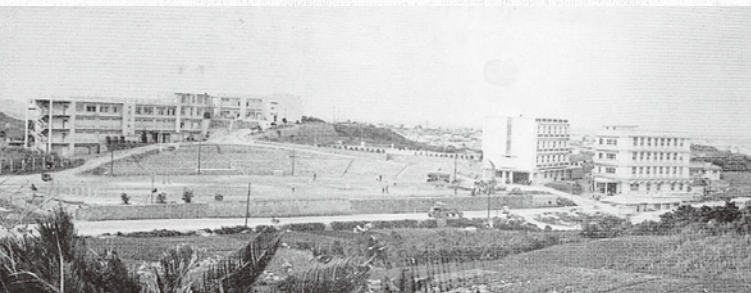
復帰前の沖縄のそれぞれの私立大学は、校地・施設面の狭さ、教員の研究室、学生数に対する教員数の適切な割合など解決すべき問題を抱えていましたが、独自の発展を遂げていきました。

**1969年** 11月21日の佐藤・ニクソン会談にもとづき、「日米共同声明」が発表され沖縄の日本復帰が決定。この決定により沖縄の私立大学を取り巻く現状も一変する。

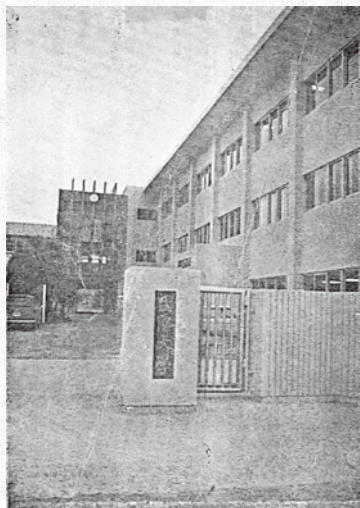
**1971年** 「沖縄返還協定」が調印され、琉球政府は本土の法令を沖縄に適用するための構想を発表する。

文部省による実情実態調査の結果、「復帰後に適応される『大学設置基準』にはるかにおよびず、復帰の時点で大学として認可できない」という通達がなされました。

そこで、学部・学科構成が類似していた「沖縄大学」と「国際大学」の両校が統合へ向けて話し合いを進めていきましたが、意見が対立する案件もいくつか存在しました。その後、紆余曲折を経て「沖縄国際大学」として統合することになりましたが、最終的には沖縄大学の教職員、学生の約半数は沖縄大学に残り存続しました。それが現在の沖縄大学です。



沖縄大学



国際大学

大学の用地については豊見城、那覇、浦添も候補地となっていたが、費用や地形の問題で宜野湾市に絞られ、まとまった規模の土地があったことや交通の便の良さから、最終的に宜野湾区に決定されました。そこから大学は、宜野湾区地主の方々との用地購入交渉へ入っていきました。祖先伝来の土地を手放すことや、大学用地内にあった墓を移転せねばならなかったことなど、様々な問題がありましたが、宜野湾区民の方々の教育への情熱と地域活性化への想いもあり、合意に至りました。



大学用地(造成前)

**1972年** 「沖縄国際大学」は、2月24日に当時の琉球政府の認可を得て、翌日の2月25日に設置認可許可証が交付された。



沖縄国際大学設置許可申請書一式(本学保管用)

4月23日 開学式ならびに第1回入学式

### 創立当時の学部学科構成

- 法学部
    - 法学科
  - 商経学部
    - 経済学科、商学科
  - 文学部
    - 国文学科、英文学科、社会学科
- ※同じ構成で二部も存在
- 短期大学部
    - 経済科、商科、国文科、英文科
- ※同じ構成で二部も存在



開学式並びに第1回入学式(嘉数中学校体育館にて)

1972年

● 5月15日沖縄の本土復帰に伴い、学校教育法に規定する大学となる。

● 第一回冲国大祭



1973年

● 3月18日 第一回卒業式



第一回卒業式

校章制定  
大学ビル共用開始(旧3号館、旧5号館)



完成直後の旧3号館。奥に5号館

1974年

● 旧本館、旧図書館、旧体育館共用開始

1978年

● 南島文化研究所設立

1980年

● 校歌制定

沖繩国際大学校歌

作詞…屋嘉宗克  
作曲…城間繁

一、朝焼け雲に 緑映え  
世紀の碧波 澎湃と  
東支那海 見はるかし  
宜野湾森に 聳え建つ  
英知の学舎に あい集い  
使命は重し わが母校  
お、おきなわ 沖繩国際大学

二、咲くや梯梧の花に似て  
久遠の平和 守らんと  
真理究むる 炬をもやし  
自由と自治を 仰ぎゆく  
若き生命を 育みて  
自尊に燃ゆる わが母校  
お、おきなわ 沖繩国際大学

三、東西文化 寄する郷  
いざ国際の 名にし負う  
科学の扉 おし開き  
鵬翼のばし 天翔る  
自主独立の 意気高く  
歴史を築く わが母校  
お、おきなわ 沖繩国際大学

7号館共用開始

1985年

● 課外活動棟(サークル棟)共用開始

1986年

● 9号館共用開始

1991年

● 産業総合研究所設立

1992年

● 新5号館共用開始



1997年

● 大学院開学  
大学院地域文化研究科 南島文化専攻開設  
沖繩法政研究所設立

1998年

大学院地域産業研究科 地域産業専攻開設  
図書館竣工



完成当時の図書館

1999年

大学院地域文化研究科 英米言語文化専攻開設

2000年

セミナーハウス(東村)共用開始

2001年

総合文化学部 人間福祉学科開設  
「文学部 国文学科、英文学科、社会文化学科」を「総合文化学部 日本文学学科、英米言語文化学科、社会文化学科」に名称変更

2002年

法学部 地域行政学科開設「法学部 法学科」を「法学部 法律学科」に名称変更

2003年

大学院地域文化研究科 人間福祉専攻開設  
大学院法学研究科 法律学専攻開設  
新体育館共用開始

2004年

経済学部 経済学科、地域環境政策学科開設  
産業情報学部 企業システム学科、産業情報学科開設  
本館ビルに米海兵隊所属CH53D型ヘリコプターが激突し、墜落・炎上

2006年

新本館共用開始

2009年

13号館共用開始



2011年

商経学部廃止

2012年

多目的グラウンド共用開始

2016年

新3号館共用開始

2021年

学生会館共用開始  
※学生会館の案内はP26をご覧ください。

2022年

創立50周年



現在の沖縄国際大学

# 沖縄国際大学 開学当時を振り返る



## 友利博明 (ともしひろあき)

1951年生まれ。

沖縄国際大学 法学部第二部法学科卒業後、愛知大学大学院経営学研究科修了。

税理士法人リモト代表。2021年に旭日小綬章を受賞。沖縄国際大学の理事も務めている。

### —— 開学間近の沖縄国際大学に進学を決めた理由をお聞かせください

私は、高校卒業後にすぐに就職をし、20歳で結婚しました。子供がおりましたので家族を養っておりましたが、どうしても「大学で学びたい」という気持ちを抱き続けておりました。また、高校の先生から4年制の大学は卒業しておきなさい、というメッセージもずっと私の中で残っていました。

そのようなときに沖縄国際大学が開学する、夜間部もあるということで「働きながら勉強できる」と思い進学の意味を固めました。学科はもともと法律に興味がありましたので、法学部第二部法学科に進学を決めました。

### —— 開学間もない沖国大はいかがでしたか？

私の中でプレハブ仮設校舎の印象がすごくあります。正直、入学後に使用した3号館や5号館などの印象はあまりありません。

プレハブ仮設校舎でトタン屋根でしたので、雨が降ると先生の話は全く聞こえなくなる。また、駐車場から道路までは整地されてなく土だけの状態だったので、雨が降ると車がスリップしました。校舎と校舎との間に排水管があり、板を設置して渡っていました。その板も水平だったらいいのですが、でこぼこだったので滑りそうになったことがありました。体育の授業も、整地されていない広場で光がそんなにない中でバレーボールをしていました。

当時、終戦直後の沖縄の学校はこうだったのだろうと思っておりました。



休憩中の学生



プレハブ仮設校舎での授業風景

### —— 学生生活はいかがでしたか？

夜間部ですので、働きながら通っている学友が多かったです。ですので、教室は学ぶ意欲にあふれた雰囲気でした。また、専門性と高い知識を持った先生方との出会いも私の刺激となりました。

一番大きかったのが、憲法と行政法を担当された大林文敏先生との出会いです。日本復帰をした年に我が国の法体系の根幹にある憲法を学べたことは、とても感動を覚えました。また、授業も私たちの理解度に配慮した進め方と、全体像をわかりやすく説明してくれました。私はそのまま大林先生のゼミで憲法を学びました。大学卒業後も大林先生との子弟関係は続き、先生のひと言がきっかけで大学院に進学し、税理士という仕事に就くことができました。

### —— 現在の沖縄国際大学を見てどう思いますか？

私たちのころと比べ物にならないくらい充実しています。学修環境が立派でしたら良い学生が育つと思います。図書館、体育館やグラウンドなどを大いに活用し、後輩の皆さんには充実した大学生活を過ごして欲しいと思います。

友利さんをはじめ、さまざまな卒業生のインタビューをご覧になりたい方はこちら！



<https://50th.okiu.ac.jp/interview/>

# 創立50周年記念 WEBサイトが オープンしました

<https://50th.okiu.ac.jp/>



創立50周年の節目にあたり、記念WEBサイトを制作し公開しました。本サイトを制作するにあたり、「過去のキオク今のオキコク未来へのキロク」というテーマを掲げました。「写真で振り返る50年のあゆみ」をはじめ、さまざまなコンテンツを準備しました。右記のQRコードをから読み取りご覧ください。これからも、50周年に関する情報を発信していきます！

## 50周年WEBサイトのスペシャルコンテンツをご紹介します

### 1 ページトップに新旧写真のライドショーを配置



開学間もないころの門扉、本館、グラウンドなどの施設や、大学祭や卒業式などの学生の移り変わりをライドショーにまとめました。

### 2 50年のあゆみ



50年のあゆみのコーナーでは、本学開学前から現在にいたるまでの軌跡を、写真と年表にまとめました。年ごとに写真アルバムにまとめ、各写真にキャプションを入れることで、当時の沖国の雰囲気をお伝えできるような構成にしました。

### 3 創立50周年記念動画



本学の創立50周年を記念して、歴史から現在の取り組み、未来へのビジョンを紹介する「創立50周年記念動画」を制作しました。建学の精神のもと、創立前から開学、そしてグローバル化等、教育・研究に取り組んできた様子を約9分にまとめました。

### 4 卒業生スペシャルインタビュー



著しく変化する現代を支え、未来を切り開いているのは「人」。本学は開学から57,000人余の卒業生を輩出してきました。50周年を機に、本学から巣立ち、未来を切り開き続けている卒業生の「Voice」を集めています。今年1年かけて50名をインタビューする予定です。

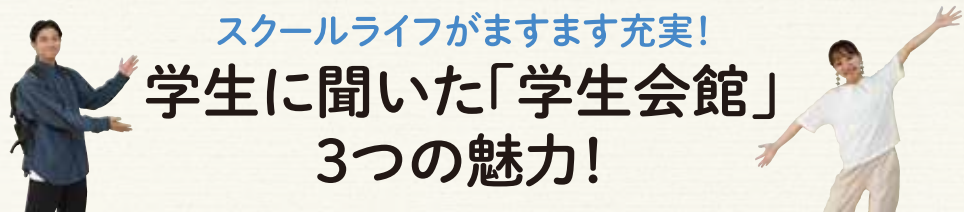
### 5 SNS でつなぐ未来へのバトン・50人インタビュー



本学に在籍する学生、教職員をはじめ、近隣住民や施設の方から、50周年のお祝いのメッセージを集めました。また、今の本学の風景をInstagramに投稿できるようにしており、学生目線の写真も集めております。

# 学生会館オープン





## スクールライフがますます充実! 学生に聞いた「学生会館」 3つの魅力!

「スタイリッシュで居心地のいい空間」として、2021年3月に学生会館が開館しました。3月に学食、4月にセブン-イレブン、9月にCafe Semicentennial (カフェ・セミセンティニアル) が順にオープン! 新しくろぎスポット、学生会館の3つの魅力に迫ります!



### 魅力 1 学生食堂でランチタイム! コンビニで軽食!

2階の学食は、月曜日から金曜日まで毎日、定食、カレー、麺類という定番メニューと、日替り定食を加えてバリエーションに富んだメニューを提供してくれます。沖縄そば、日本そばとうどんの各種麺類とカレーが男女ともに人気だそうです!

1階のセブン-イレブンは、スイーツ、パン類、おにぎりなどと飲み物を数多く販売しています。授業の合間や昼食時間は、軽食を求めて店内は多くの学生で賑わっています。



### Student Voice

セブン-イレブンを日ごろから利用しているので、好きな商品を学内で買えるのが魅力です。授業の合間に、友だちとよく利用しています。

嶺井 政宗  
(地域環境政策学科:3年生)



## 魅力 2 明るく開放的なカフェは、学生たちの休憩の場

全面ガラス張りで外光が差し込む店内は、白を基調としたスタイリッシュなデザインでおしゃれな空間が広がっています。また、3階にあるため、眺めもよく、リラックスした時間を楽しめます。

メニューはミニマフィン、ケーキやアイスなどのスイーツのほか、珈琲や紅茶、ラテなどのドリンクをはじめとした多数の品ぞろえとなっております。授業の合間の休憩の場となっています。



### Student Voice

学食の魅力は、お店のような雰囲気です。メニューも豊富です。新型コロナウイルス感染予防対策もしっかりとされており、安心して食事ができます。

中村 涼香  
(日本文学学科:4年生)



## 魅力 3 フリースペースとしても。休憩スポットとしても!

学生会館は、友だちとのくつろぎの時間、昼食時間、自習時間など学生が居心地よく過ごせるような空間づくりとなっております。そのために、建物の周辺は自然を基調としたウッドデッキ張りにし、学生会館内外にイス・テーブルを設置することで憩いの場となるようにしました。

また、「だれでもトイレ」やパウダールームも設置されており、利便性も良い施設となっております。



### Student Voice

大学にオシャレな建物が出来て嬉しいです。施設も綺麗で、カフェなどもあるので空き時間が過ごしやすいです。

宮城 萌子  
(英米言語文化学科:4年生)





# OKIU 50<sup>th</sup> 第50回冲国大祭レポート FESTIVAL

## Report

2021年11月27日と28日の2日間にわたり、冲国大祭が開催されました!

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりましたが、今年度は入場者を学生および教職員に限定するなどの対策を講じたうえで、一昨年以來2年ぶりに実施することができました。また、学外者もオンラインで祭りの雰囲気を感じ取ってもらえるよう、ハイブリッド開催となりました。

コロナ禍という先行きが見えない状況の中で、限られた中でも全力で冲国大祭を実現させるために実行委員が掲げた今年のテーマは「Vamos」。スペイン語で「行こう」という意味があります。広々とした中庭を中心に様々な展示、ライブやダンス、エイサーなどのパフォーマンスがありました。活気と笑顔ある雰囲気が学内に満ちあふれた大学祭となりました。



HYBRID



### 屋内コーナー

屋内では、感染対策をしながら、展示や朗読劇を披露し、見て、聞いて、楽しめる空間となりました。



沖国eスポーツサークル



近年大注目の「eスポーツ」!  
沖国eスポーツサークルが様々なゲームを取りそろえ、子供から大人まで、たくさんの方が楽しみました!



美術クラブ



写真部



書道部



日本文化学科 一年次 鬼慶良間

国文学科時代から30年以上も続く日本文化学科の伝統行事「民話劇 鬼慶良間」。コロナ禍の今年は新たな試みとして、舞台上演+オンライン上演のハイブリッド型での「朗読劇」として上演することになりました。



## メインステージ 1日目

メインステージは、たくさんの団体の演舞やアーティストによるライブが行われました。



吹奏楽部

今年もメインステージのトップバッターを務めた吹奏楽部。素敵な演奏で幕開けを飾りました!



ハセガワ(ダンス)



Papillon(バンド)



琉球風車



## メインステージ 2日目



2日目MCの1人は、本学2年生で「Miss university Japan 2021」準グランプリの蒲山花礼さんでした。



琉球芸能文学研究会

2日目のオープニングは琉球芸能文学研究会の皆さんからスタート!



チームBチーム



GOODSONGS

## 新型コロナウイルス感染防止対策

新型コロナウイルス感染防止の観点から、今年度はGoogleフォームでの事前予約制としました。学祭実行委員が、各出入口付近で、入場ブースでの検温、来場者にリストバンドを配布し感染症対策を行いました。



## Ms.Mr. コンテスト

沖国大祭の人気プログラムの一つでもあるMs.Mr.コンテストでは、グランプリに並里かのんさん(地域行政学科4年次)と嶺井政宗さん(地域環境政策学科2年次)が選ばれました。ステージ上には美男美女が集い、とても華やかなプログラムとなりました。

*Grand Prix*



メインステージでは他にも、「HoRookies」、[Fukumoto Nao]、[佐久間龍星]、[Rude-a]、[PAIN]、[PIEC3 POPPO]などのアーティストをスペシャルゲストに迎え、ライブ演奏やパフォーマンスが行われました。アーティストのみなさん、沖国大祭をおおいに盛り上げて頂きありがとうございました。日頃、練習に励む芸能系サークルに所属する学生たちにとっては素晴らしい刺激になり、同じ舞台上に立てたことが喜びとなったことでしょう。

## ドリンクカー MILK BOME

タピオカミルクドリンクスタンドが出店し、イベント限定メニューを用意していました。



## フィナーレ

最後は、本学が誇る二大エイサーサークルの「鼓舞楽団 浦風」と「琉球風車」が、グラウンドにてエイサー演舞を披露しました。



鼓舞楽団 浦風



琉球風車

## 2021年度 第50回 沖国大祭の お礼とお詫び

去る11月27日(土)、28日(日)に行われました「第50回沖国大祭」に多数のみなさまにご参加を頂きましてありがとうございました。

また、沖国大祭を開催するにあたり地域住民の方々・関係者の皆様には、いろいろとご協力いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

しかしながら、沖国大祭において大学周辺での騒音が生じた事に関しましては、大学近隣にお住まいの方々にご迷惑をおかけしました事を深くお詫び申し上げます。

最後に、大学祭の実施につきましては、課外活動の成果発表、地域住民および大学生相互の親睦を心がけておりますので、地域住民の方々・関係者の皆様には今後とも何卒ご理解・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年12月  
沖縄国際大学 大学祭実行委員会



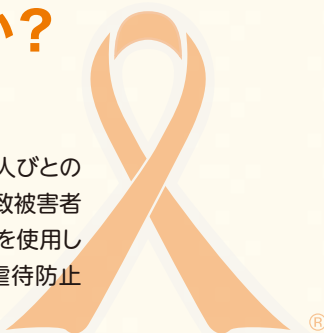


## OKIU オレンジリボン活動を 青春白書 知っていますか？

～活躍する学生たち！～

「オレンジリボン」を知っていますか？イエローリボン(障害のある人びとの社会参加を推進していくためのシンボルマーク)やブルーリボン(拉致被害者の救出を求めるシンボルマーク)など、社会的運動に色つきのリボンを使用しており、オレンジリボンもその1つです。オレンジリボンとは「児童虐待防止のシンボルマーク」です。

まだまだ、社会的に浸透していないこのリボンを、今年度から普及する取り組みを人間福祉学科 社会福祉専攻の比嘉ゼミで取り組みはじめました。そこで、比嘉ゼミから代表して、平敷せり香さん、外間千聖さん、島袋匠さんに福祉に興味を持ったきっかけから、現在の活動や今後の展望について、いろいろインタビューしました。



——入学する前は、福祉と聞くとどういうイメージがありましたか？  
また、入学して福祉を学ぶようになり、イメージは変わりましたか？

**平敷せり香さん**：介護というイメージがありました。沖国で福祉を学び始めて、児童福祉・高齢者福祉・障害福祉・低所得者への福祉・国際福祉など幅広い分野があることを知り、介護だけのイメージじゃなかったなということを感じました

**外間千聖さん**：困っている人を助け相談にのる、みたいなイメージでした。福祉を学ぶようになって、これは私たち一人ひとりにも福祉が当てはまることが多くあり、社会で一番必要とされているのが福祉だと考えるようになりました。

**島袋 匠さん**：平敷さんが言っていたように介護福祉のイメージでした。社会福祉専攻に入学し、福祉には高齢者福祉・児童福祉・障害福祉など幅広い分野があり、福祉は社会全体に必要とされている、ということを知りました。学べば学ぶほど、福祉の必要性を感じています。

——福祉を学び自分自身が変わってきたことを教えてください。

**平敷さん**：これまで障害者の方と関わる機会がなかったので障害について触れてはいけな、という考えがありました。例えば、足に障害を抱えている人が歩いていたら見ちゃいけないとか…。福祉を学ぶことで、この方は私たちと何も変わらなくて、(以前の私のように)障害に関して見て見ぬフリをし、勝手なイメージを自分自身の中で作り上げることが差別につながると考えるようになりました。福祉を通して、偏見や差別を深く考えられ、成長していることを実感しています。



平敷 せり香  
[へしき せりか]

人間福祉学科 社会福祉専攻 3年次  
美来工科高校出身

**外間さん**：私も、親がいない子どもに対して家族のお話ししちゃうだめ、という気持ちがあり触れないようにしていました。福祉の学びを通して、私たちが気にしすぎると子どもたちがそれをキャッチしてしまうかもしれないと思うようになりました。消極的ではなくアウトリーチ(手を伸ばす)であることが大事、ということ福祉の学びを通じて感じています。

**島袋さん**：現場実習を通じて、障害を持っている方は私たちと変わらなくて、個性として捉えられるようになりました。

——福祉の学びから、自分自身のあり方とか、相手の立場になって考えるということをより意識するようになったのですね？

一同：そうです。

—— 福祉専攻の分野で児童福祉を選んだ理由をお聞かせください。

**平敷さん**：高校生の頃から、沖縄で虐待が多いというニュースに強い関心を持っていました。特に「心愛(ゆあ)ちゃん事件」(2019年1月、千葉県野田市で当時小学校4年生だった栗原心愛ちゃんが両親の虐待によって死亡させられた事件)が忘れられません。当時は虐待する親に対して何で虐待するのだろうか?という疑問とか怒りでした。福祉の学びを通じて、子どもは当然ですが、親の支援もしないと児童虐待の問題は進まないということを考えるようになりました。また、沖縄は子どもの貧困も問題です。子どもは自分一人では生きていけない、自由じゃないので、それら問題を解決したいと思い児童福祉の分野を選択しました。

**外間さん**：大学に入る前までは、福祉に強い興味があるわけではなく、子どもに関することに興味がありました。大学一年次のころ、社会福祉専攻で学べる福祉分野を知るなかで、児童福祉に惹かれていきました。差別や虐待を受けている子どもは周りの環境が問題で、自分で声をあげられないと思います。子どもが声をあげられるように支援がしたいと考え、比嘉先生の児童福祉分野を選択しました。



**外間 千聖**  
[ほかま ちさと]

人間福祉学科 社会福祉専攻 3年次  
豊見城高校出身

**島袋さん**：先ほども言いましたが、高校までは福祉＝介護福祉でした。入学して、子どもの分野もあるんだ!という驚きがありました。学んでみると、沖縄の社会状況とかニュースとかがつながってきて、なるほど!と納得することができました。知れば知るほど興味が湧いてきて児童福祉分野を選択しました。

—— オレンジリボン活動を比嘉ゼミで取り組むきっかけを教えてください。

**島袋さん**：去年の5月ごろに比嘉先生から、「比嘉ゼミとしてオレンジリボン活動に参加していこうと思うんだけど、この活動を広げるためにはどうしたらいいか考えよう」という課題がでました。4つのグループに分かれて、グループワークを行い発表した結果、小学校への周知活動、児童相談所への取材、そしてSNSでその活動を伝えていく、という3つをゼミとして取り組むことになりました。

—— それぞれのグループで活動を詳しく教えてください。

**平敷さん**：私は、小学校への周知活動班でした。宜野湾市内の小学校へ自分たちで作ったオレンジリボンと、訪問して小学生に配りながらオレンジリボン活動を周知することを取り組みました。

**島袋さん**：私たち班は児童相談所への取材班で、相談所の業務内容、直面しているケース、困っていることなどを聞き取りし、まとめることをしました。

**外間さん**：私たち班は、SNS班で、小学校への周知活動班と児童相談所への取材班と連携し、それぞれの活動を詳しく聞き取り SNS にアップすることをしました。



—— ゼミ活動を通じて感じたことをお聞かせください。

**平敷さん**：1,200個ほどのオレンジリボンと、家族などにも手伝ってもらいながらなんとか完成させました。完成後は、小学校に訪問のための依頼文を作成し比嘉先生に確認いただき、スケジュール調整して訪問と、初めての経験ばかりでした。小学生だけでなく、対応をしてくださった学校職員の方々へオレンジリボン活動を知っていただく機会にもなり良かったと思っています。

**島袋さん**：訪問してよかったのは、小学生にオレンジリボン活動のことを直接話せたことです。また、虐待も身体的虐待をよく想像しますが、心理的虐待、ネグレクト、性的虐待もあることも伝えると子どもたちの反応がストレートに返ってきて、伝えることが出来てよかったです。



**島袋 匠**  
[しまぶくろ たくみ]

人間福祉学科 社会福祉専攻 3年次  
与勝高校出身

児童相談所への取材で良かったことは、子どもの環境をどのように働きかけたら変えていけるか?ということのを所長さんや職員さんが一丸になって考えていることを知れたことでした。また、職員一人ひとりが現場で感じるストレスが高いため、職員間で行っているメンタルヘルスも勉強になりました。

**外間さん**：社会福祉専攻のInstagram、Twitter、Facebookに私たちの活動を紹介していました。文書だけでなくと見なくなると思うので、子どもが見ても理解できるような言葉や児童福祉関連のワードの紹介、動画を取り入れるなど工夫しました。説明するためには間違いがあってはいけないので、資料を調べ、発信前に先生にチェックして頂いたこともいい経験となりました。

—— 最後になりますが、皆さんが学んできたオレンジリボン活動を、どのように活かしていきたいですか? また、オレンジリボン活動を社会に広めるためにはどうしたらいいか、皆さんの考えをお聞かせください。

**外間さん**：毎年11月がオレンジリボン活動月間ですが、日常から意識して身近な方に(子どもが抱えさせられている問題の)話を続けていきたいと思っています。オレンジリボン活動が社会に広まるためには、小学校など教育現場から子どもたちに伝えていくことだと感じています。

**平敷さん**：教育現場で、年齢に応じた児童虐待の授業などをおこない、子どもたちが理解していくことがオレンジリボン活動の目的が達成されるために必要なことだと思います。

**島袋さん**：沖縄県は子どもの権利週間などを設けていますが、ゼミの仲間でも初めて聞くという友人もいて驚きました。このことから、オレンジリボン活動や子どもが抱えさせられている問題も含めて、教育現場で伝えていくことが重要だと思います。

社会福祉専攻の  
SNSはこちら!





# OKIU 研究室探訪



Masachika Higa

比嘉 昌哉

総合文化学部人間福祉学科 教授

## 子どもたちを取り巻く問題を可視化し、解決方法を考えつづける

「児童虐待」「子どもの貧困」「親の離婚」などを聞くと、どのようなことを考えるでしょうか。「かわいそう」とか「なんでこんなことするんだろう?」と思う方が多いのではないのでしょうか。これら子どもを取り巻く問題は住んでいる地域の社会構造が大きく関係しており、見えにくく、子どもたちの将来へ影響し、世代間で続くそうです。

子どもを取り巻く問題は、沖縄が抱えさせられている問題としてよくメディアで取り上げられています。また、昨年から続いているコロナ禍で親のストレスなどが子どもにより悪い影響を与えている現状があるそうです。

そこで、沖縄の子どもを取り巻く環境や問題について研究している人間福祉学科の比嘉先生に、研究者を目指したきっかけから研究・教育活動までいろいろお話を伺いました。

### 先生が研究分野(児童福祉など)に興味を持ったきっかけを教えてください

琉球大学(学部)時代に児童自立支援施設で実習をしたことがきっかけとなっています。児童自立支援施設とは、いわゆる非行系の子どもたちが入所する施設ですが、実習で出会った子どもたちは普段周りにいる“普通”の子どもたちと何も変わりませんでした。しかし、大きく異なる点がありました。それは子どもたちの家庭環境です。その親御さんたちは何らかの理由で離婚しひとり親家庭になっていたり、また中には両親ともに不在で祖父母等に育てられている子どもたちが多くいました。“どうしてこの子どもたちは非行に走らざるを得なかったのか”に関心を持ち、卒業論文では「少年非行の原因」に焦点をあて、さらに龍谷大学大学院(滋賀県瀬田キャンパス)に進学し同テーマで研究を続けました。原点は、そこです。

### 沖縄が抱える子どもの貧困や虐待の問題について詳しく聞かせて下さい

ご承知の通り、沖縄は観光立県であり華やかな一面がありますが、他方で米軍基地絡みの問題や失業率・離婚率の高さなど厳しい側面も目立っています。子どもを取り巻く環境からみると、子どもの貧困率、十代等の若年出産率、中学卒業時の進路未決定率、不登校に占める怠学傾向にある子どもの割合等他の都道府県に比べて厳しい状況にあります。

私自身、講義や外部の研修の中では「子どもの問題」という表現は避け、「子どもに現れてくる問題」と表現します。それは、子どもの貧困や児童虐待で考えると分かりやすいですが、そもそもこれらの問題は「子どもの問題」ではなく、保護者・家庭の問題です。また、保護者も社会の影響を強く受けています。そのため、児童家庭福祉の視点からは、子どもだけに焦点をあてるのではなく、子どもたちの置かれている家庭環

境や地域、そしてその人間関係等を重視します。子どもについては、経済的な側面が目目されますが、この問題の大きな課題は、第1に見えにくいこと、第2にそれらが子どもの将来にわたって影響を与えること、第3に世代間連鎖です。つまり、見えにくいことから当事者である子どもやその保護者が偏見の目にさらされたりします。また、その対応が遅れること、さらに経済的な不利が、塾に行くことができないという学習・教育面への影響、病院に行くことができないという健康面への影響、文化的資源の不足・部活動などのさまざまな体験が不足し、児童虐待・ネグレクト、自己肯定感の低下など複合的困難につながります。それらが世代を超えて連鎖してしまうのです。ゆえに、研究者としては子どもの貧困問題を可視化(見える化)すること、子どもへの影響を最小限にすること、そして負の世代間連鎖を現在現れている世代で断ち切ることを念頭に置いています。

特に、私が専門的に研究・教育しているのは、スクールソーシャルワークという分野です。学校という場は、子どもの貧困や児童虐待を早期発見・支援できる場所です。文部科学省では、「学校プラットホーム」と呼んでいます。まだ配置数の少ないスクールソーシャルワーカーですが、彼・彼女らは学校教職員と連携・協働しながら子どもたちに現れてくる諸問題の解決に取り組みます。その際に重視しているのが、子どもの権利を護ること・その自己決定をサポートすることです。子どもたちの声に耳を傾け、声を上げにくい子どもたちにどう寄り添うか、スクールソーシャルワーカー等支援者のスタンスが問われます。



## 沖縄の子どもの問題を、どのように学生に伝えていきますか？

学生たちには、授業(講義・演習・実習等)を通して、問題を表面的に見るのではなく、子どもの家庭や地域環境などの背景を理解し、問題の本質を捉えることができるように、できるだけデータなどを通して伝え・考えさせるようにしています。最新の統計はもちろんのこと、視聴覚教材を活用し教授するように工夫しています。また、机の上だけで学ぶには限界があります。それを払しょくするために、地域に出ていきボランティア活動・実習等に積極的に参加し、現場の支援者や子どもたちから謙虚な姿勢で学ぶことを奨励しています。



※福祉の理論を身近な問題として感じ取れるよう、新聞記事や時事問題を積極的に取り入れています。

## コロナ禍になって1年が経過しますが、子どもの現状はどうなっていますか？

学校現場ではこれまでの課題に加え、COVID-19の影響を受けて、より脆弱な家庭環境にある子どもたちがより深刻な状況に置かれていることが分かっています。例えば、「親の仕事状況の変化による負担」では低所得層の方がより影響を受け、「親の精神状態と子どものストレス」では親のメンタルヘルスが子どもに多大な影響を与えていることなどが明らかになっています\*1。学校現場等では、対症療法になることが多いですが、未然防止の視点が必要と考えます。それが「スクリーニング」\*2という手法であり、全児童生徒を対象とし、データに基づき潜在的に支援の必要な児童生徒や家庭を適切な支援につなぐのです。本スクリーニングを活用した実践については、現在研究として取り組んでいるところで、問題が大きくなる前に気づき支援することで、教師らの負担も軽減します。何よりも子どもやその保護者らにとっても早期発見・支援の視点は重要なことといえるでしょう。

※1 大阪府立大学 山野研究室「厚生労働科学研究コロナ影響調査報告書」

(<http://www.human.osakafu-u.ac.jp/>, 20210410アクセス)

※2 YOSSと呼ばれるスクリーニングシートを用いて全国でモデル事業が展開されている。沖縄県においても2020年度糸満・うるま市にて実施された

大阪府立大学 山野研究室「スクリーニング研究」

(<http://www.human.osakafu-u.ac.jp/>, 20210410アクセス)

## 福祉に関心のある高校生や、在学生へメッセージをお願いします

### 高校生の皆さん

人間福祉学科社会福祉専攻ではアドミッションポリシーとして、以下の3点を掲げています。

1. 将来、社会の各分野で社会福祉の専門家として働くことを強く希望し、その素質が十分あると認められる人物。

- II. 社会福祉の分野に活かせる具体的な能力や技能を有し、大学での勉学や将来において活用が期待できる人物。
- III. 将来、アジアや太平洋地域をはじめとする国際的な場における支援活動に参加することを熱望する人物。

私の講義やゼミでは、地元沖縄で問題となっている前述のような「子どもに現れてくる諸問題」を中心に学びます。ゼミ生には、社会福祉士やスクールソーシャルワーカー等の資格を目指す学生が多くなっています。学ぶ意欲のある生徒さんが入学後楽しく学修できるようにサポートします。まずはオープンキャンパス等を活用してぜひ本学にいらしてください。大歓迎です。

### 在学生の皆さん

大学の4年間はあっという間に過ぎます。勉学はもちろんですが、資格取得やボランティア活動、読書、アルバイト等何でも構いませんので、在学中に「○○○だけは頑張っ取り組んだ」と他者に胸を張って言えることにぜひ取り組んでください。

大学での「さまざまな学び」は卒業時にすぐにその結果(資格や免許の取得等)がついてくることもありますが、そうでないことも多いのが現実です。人生は80年時代、いやそれ以上あります。これからの人生(プロセス)を充実させるべく、キャンパスライフを大いに楽しんでほしいと思います。



## 比嘉 昌哉

ひが まさちか

総合文化学部 人間福祉学科教授

龍谷大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻修士課程修了  
2008年に本学に着任。

担当科目は「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」  
「スクールソーシャルワーク演習」など。大学業務以外では、  
沖縄県教育委員会 スクールソーシャルワーカー配置事業スーパーバイザー、児童相談所 児童虐待にかかる外部専門家、日本学校ソーシャルワーク学会理事など社会活動も行っている。

# キャリア 支援情報

## 1・2年生のための就職活動入門!

どの学生にとっても就職活動は初めての体験。どのように進めて良いのか不安や迷いがあるのは当然です。特に1・2年生だと何から始めれば良いのかわからないことばかりだと思います。キャリア支援課(本館3階)では、一人ひとりの進路設計をお手伝いするために様々なサポートを行っています。まずはキャリア支援課に足を運んでみましょう♪

## ◆ 充実した就職資料

キャリア支援課に併設している資料コーナーでは、就職に関する各種資料を取り揃えています。ビジネス書や各種資格試験の参考書だけでなく、県内外企業からの求人票、就職情報誌など、就職・キャリアに関する資料が開覧できます。就職試験の勉強や企業研究に活用してください!



## ◆ キャリアカウンセラーによる就職相談

キャリア支援課スタッフによる就職相談のほか、毎週火・水曜日にキャリアカウンセラーによる進路相談、模擬面接、履歴書・エントリーシートの添削などを行っています。専門家のアドバイスを参考に自分なりの就職活動を着実に進めていきましょう♪

## ◆ バラエティ豊富な就活プログラム

その他にも年間を通して様々なプログラム(セミナーや講座など)を設けています。就職活動に近道はありませんが、頑張った分だけ自分の成長につながります。バラエティ豊富なキャリア支援課のプログラムを活用しながら、じっくり将来の進路について考えてみましょう♪また、先生のアドバイスや先輩の体験談、同じ仲間との情報交換なども大切です。

## 年間を通して行っている 就活プログラム

- 共通科目「キャリア教育科目群」との連携
- 出張キャリアガイダンス(ゼミ単位での実施)
- 資格取得・就職支援講座(詳細は48ページ)
- 筆記試験対策講座(GPI・教養)
- 各種就活支援講座・セミナー



学生サポーターに  
聞いてみよう

就職活動は初めての体験で、不安や悩みが多いものです。そんな不安や悩みは実際に就職活動を終えたばかりの先輩に相談することで解消しましょう!これから就職活動を開始する学生にとっては、気軽に先輩の実体験を聞けるまたとない場です。ぜひ活用してください!! ※学生サポーターは、就職内定が決まる11月~12月頃からキャリア支援課に常駐しています。

就職内定を掴みとった先輩からのメッセージ!



東京海上日動火災保険株式会社

なりたい自分になるために

星野 七海 [ほしの ななみ]

企業システム学科 2020年度卒業 那覇高校出身

就職活動は、悩みや不安が多くあります。私もどんな仕事に向いていて、何がしたいのかなど悩みがありました。将来のなりたい姿や働く姿をイメージできるような私は、合同説明会や企業のインターンに積極的に参加しました。様々な企業・業界で働く方々と出会えるのは就活生の特権であり、夢を掴むことのできるチャンスでもあります。就職活動に迷い戸惑うこともあるかと思いますが家族や友人、周りの方々の支えが一番の自信に繋がります。一人で考え込まず、行動してみることが内定への第一歩です。キャリア支援課では就活の相談から選考対策まで、親身になってサポートしてくれます。夢に向かって悔いのないよう学生生活を謳歌してください!



## 資格取得・就職支援講座で キャリアアップ!

「将来のキャリアを考えると在学中に何か資格を取得しておきたい。」「就職試験に備えて勉強しておきたい。」そんな学生のためにキャリア支援課では、外部提携(有料)による資格取得や国家資格試験などの資格取得・就職支援講座を企画しています。また、各種検定試験の受付なども行っています。

※申込み人数によっては、講座が閉講になることもありますので、予めご了承ください。

## 資格取得・就職支援講座利用のメリット

### ◆ 安価な受講料

受講生の経済的な負担を考慮。市場より安価な金額設定と  
なっています。  
※卒業生も同額で受講可能!

### ◆ プロによる講義

各分野で実績のある講師陣  
が丁寧に指導します。独学では  
得がたい実践的な知識、出題傾  
向に基づくテクニックを身につ  
けることができます。

### ◆ 学内で受講可能

各講座は学内での実施とな  
り、時間のロスや交通費の負担  
はありません。講座時間帯は講  
義終了後となっているため、日  
頃の学業と並行して、勉学に励  
むことができます。

## 2022年度開講予定講座一覧

- 公務員試験対策講座
- 公務員試験対策 単科講座【数的処理】
- 色彩検定2級対策講座
- ブライダルプランナー 2級対策講座
- SPI試験対策講座
- ファイリングデザイナー検定対策講座
- 行政書士試験対策講座
- 宅地建物取引士試験対策講座
- 経営学検定対策講座(Eラーニング)
- 公文書管理検定対策講座(Eラーニング)

## 本館3階 キャリア支援課窓口

受付時間 9:00~19:00(月~金) **就職関連窓口** TEL:098-893-7779

[https://www.okiu.ac.jp/career\\_support](https://www.okiu.ac.jp/career_support)

# 沖縄国際大学 キャリアサポート助成

本学では、本学の学部在籍する学生が、正課内科目の延長線上に位置付けられる各種資格や各種検定試験等について、正課外における自主的な学習(個人学習)により、合格(資格取得を含む)に至った場合、当該学生の努力を讃えと共に、より高度な資格や技能を身につけることを奨励するため、資格取得者自身による申請に基づき、所定の学生補助金を支給しております。在学生の皆様につきましては、正課内科目において自ら習得した知識や技術検定や資格に挑戦・合格することで、就職活動やその後の自身のキャリアにも役立つ力強い“武器”になります。自身の時間を有効に使い、学生生活をより豊かにしていきましょう。

### ● 対象者

本学学部在籍する学生。

### ● 対象資格・検定試験等 及び助成金額

詳細は、ポータル(学内掲示)で  
ご確認ください。

### ● 申請場所

本館3階キャリア支援課窓口  
※窓口受付:学年暦に基づいた業務日  
(平日[月~金]の9:00~19:00)

### ■ 注意事項

※申請手続きに不備があった場合、不  
受理となる可能性があります。

※申請期間外の申請は一切受け付け  
ません。

※本学学生補助金制度に係る予算の執  
行状況等を勘案し、卒業年次(4年  
次)の学生からの申請を優先的に取  
り扱う場合があります。  
また、予算の執行状況によって、実  
際の支給時期が遅れる場合も想定  
されますので、その旨、御了承くだ  
さい。

### 問い合わせ先

## 沖縄国際大学キャリア支援課

その他詳細等については、ポータル(学内掲示)に情報を掲載しているので、そちらで確認ください。



4月1日・2日

**第50回入学式・第25回大学院入学式を  
挙行了しました!**

2021年4月1日(木)と2日(金)に入学式を挙行了いたしました。今回の入学式は、新型コロナウイルス感染防止を踏まえ、各学科で分散型として、事前に収録した映像を上映するかたちで開催しました。入学許可申請のあと、前津学長より入学許可がなされ、学部生1,282名、大学院入学生30名の計1,312名が本学へ入学しました。また、新入生を代表して産業情報学部産業情報学科の勝連穂輝さん(前原高校出身)、大学院地域文化研究科人間福祉専攻の我那覇稜人さんによる宣誓がなされました。その後、学科毎でオリエンテーションを行い、新入生の新たな大学生活がスタートいたしました。



4月7日

**学生会館にセブン-イレブンがOPENしました!**

4月7日(水)、本学生会館1階にコンビニエンスストア(セブン-イレブン/沖縄)がオープンしました。開店と同時に多くの学生が来店し、店内は賑やかな雰囲気になりました。学食は3月からプレオープンしていましたが、コンビニがオープンすることでより学生会館が充実しました。オープンしたばかりのセブン-イレブンを利用した山城富麻さん(産業情報学部産業情報学科・1年次)は、「オリエンテーション時に案内があり気になっていた。大学構内にコンビニがあるのはとても便利。また利用したい」と嬉しそうに話してくれました。

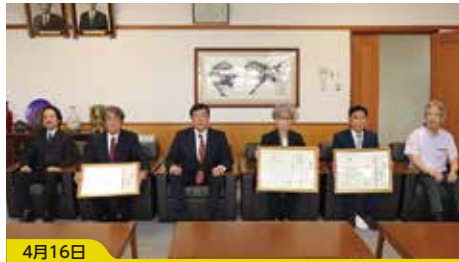
今後多くの学生さんが充実したキャンパスライフを送れることを期待しています!



4月13日~30日

**春のサークル紹介を開催しました**

4月13日(火)~4月30日(金)までの期間で、2021年度春のサークル紹介を開催しました。例年は1日で様々な文化系サークルが演舞(演奏)を行います。今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、複数日に分けて開催しました。トップバッターの「鼓舞楽団浦風」からスタートし、それぞれのサークルの個性を発揮したサークル紹介でした。出演したサークルの皆さん、お疲れ様でした。



4月16日

**名誉教授称号記授与式が行われました**

4月16日(金)、本館5階応接室において、3月で退職された下記の先生方へ名誉教授の称号記が授与されました。

- 照屋寛之元法文学部教授(写真左から2人目)
- 上原静元総合文化学部教授(写真右から2人目)
- 黒澤亜里子元総合文化学部教授(写真右から3人目)

照屋寛之先生は21年11ヶ月、上原静元先生は22年間、黒澤亜里子先生は32年間に在職し、本学の教育・研究に多大な貢献をなされました。

前津榮健学長より称号記が授与され、これまでの教育及び学術の功績に敬意を表するとともに、本学でのご功労に感謝の言葉を述べられました。



7月4日~18日

**オープンキャンパスを開催しました!**

7月4日(日)と18日(日)にオープンキャンパスを開催しました!今回は新型コロナウイルス感染防止対策に伴い、人数制限を行うことになりました。事前申込制をとり、7月4日より引き続き、開催させて頂きました。

学科紹介や体験講座、大学生によるキャンパスツアー、個別相談など様々なプログラムを開催いたしました。当日は入口での検温や座席指定の実施など、参加者の皆さんにもご協力を頂きました。



7月30日

**ダンロップ2DAYS女子学生ゴルフ選手権  
仲村姫乃さんが初優勝**

2021九州学生ゴルフ連盟主催「ダンロップ2DAYS女子学生ゴルフ選手権」は7月13日から2日間、宮崎県宮崎市のトム・ワトソンゴルフコースで開催され、経済学科2年次の仲村姫乃(なかむらひめの)さんがプレーオフを制し初優勝を飾り、顧問の呉先生と学長に大会報告を行いました。学長からは「九州での移動から大会当日もすべて一人で行い、プレーオフを制しての初優勝はとても素晴らしいです。おめでとうございます。今後の活躍も期待しているので、ぜひ頑張ってください。」と激励の言葉がありました。右のQRコードから仲村さんのショートインタビューをご覧ください。



8月11日

**卒業生喜友名諒さん、見事オリンピック  
金メダル獲得!!**

本学卒業生の喜友名諒さんが、東京 2020 オリンピック男子空手形において見事金メダルを獲得しました!!

オリンピック初採用となった空手競技。更に自国開催という重圧の中でも素晴らしい演武を見せ、予選から他を寄せ付けない圧倒的な強さでした。

喜友名さんは、昨年11月には空手の国際大会である「KARATE1プレミアリーグ(世界空手連盟主催)」における優勝19回という快挙がギネスに認定されました。更に、同年12月には天皇杯・皇后杯第48回全日本空手道選手権において男子形個人戦部門で史上初の9連覇を達成。そして今回、オリンピックという檜舞台で堂々の金メダル。これらの活躍は後輩たちにとって大きな励みとなることでしょう。今後の更なる飛躍を応援しております。金メダル獲得おめでとうございます!



8月13日

**【普天間基地の閉鎖を求め、平和の尊さを語りつく集い】(動画配信)を開催しました**

本学では、2004年8月13日の本学構内への米軍ヘリ墜落事件を風化させることなく平和の尊さを語り継ぐために、毎年「普天間基地の閉鎖を求め、平和の尊さを語りつく集い」を開催してきました。ヘリ墜落事件から17年目を迎えた今年も開催を予定しておりましたが、今年8月1日に沖縄県より発信された新型コロナウイルスに関する「緊急共同メッセージ」を受け、今回は墜落現場での実施を取り止め、事前に収録した動画をホームページ上で配信し「集い」といたしました。声明発表では、本学前津榮健理事長・学長が、普天間基地の閉鎖・撤去を求める旨の声明と、学生2名が、意見発表を行いました。



8月19日  
**パラリンピックに向けた沖縄市の採火式に参加**

2021年8月24日に開幕する東京オリンピックに向けて聖火の火を集める採火が、沖縄県内の14市町で行われました。8月14日に行われた沖縄市の採火式ではオリジナルキャンドルに炎が灯され、沖縄市長、県障がい者スポーツ協会理事長を経て沖縄市代表の安村妃良梨さん(産業情報学科2年次)に託されました。安村さんは車いす競技で活躍しており、東京2020パラリンピックに出場の喜納翼選手(日本文化学科卒業生)と普段から一緒にトレーニングをしており、上与原真和選手とも練習会場で顔を合わせることもあるとのこと。安村さんは採火式の後に記者からコメントを求められ、「近くで見ている分、メダルとかではなく、お二人が楽しめるような大会になったらいいと思います」と思いを伝えました。8月14日には奥武山公園コミュニティセンターで「集火・出立式」が開かれ、そこで集火皿に火を集め、トーチに灯した後、東京都に送り出されました。



8月31日  
**軟式野球部が全日本大学軟式野球選抜大会にてベスト8!**

8月22日(日)より長野県にて開催された「第1回全日本大学軟式野球選抜大会」に本学軟式野球部が出場いたしました。準々決勝まで検討しましたが、桐蔭横浜大学(神奈川県代表)に3-0と準決勝まであと一歩およばず、ベスト8という結果で大会を終えました。軟式野球部の皆さん、コロナ禍で練習時間の制約など厳しい環境の中、全日本大会お疲れ様でした。



9月1日  
**食料や衛生品の配布を行いました!**

宜野湾市大謝名のボランティアグループ「地域むすびくらぶ」様より、学生支援室に1週間分ほどの食料と衛生品など30名分の物資の提供があり、9月1日(月)~9月3日(金)の期間に希望の学生へ物資を配布することができました。「ありがとうございました!」と何度もお礼を言う学生、「助かる〜、これ必要!」と笑う学生の姿が印象的でした。  
また上記の支援と別で、去った2021年8月7日(土)に那覇市で行われた「学生スマイルマルシェ(食料・必需品支援)」に留学生を含む本学学生28名の申し込みがありました。  
その申込の中には、留学生の引率で会場へ足を運んだ尚真貴子先生から主催スタッフへ「移動手段のない留学生や、大学近辺に住んでいる学生が多くいる」と話したところ、今回厚意で余剰分を本学へ提供をいただくこととなりました。提供いただいた食糧・日用品は、30名の学生へ無事配布されました。

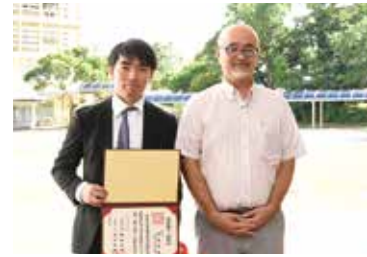


9月27日  
**一般社団法人沖縄県軍用地地主会連合会様より寄付金を賜りました**

一般社団法人沖縄県軍用地地主会連合会様より9月27日(月)に寄付金を賜りました。沖縄県軍用地地主会連合会は、各地域の地主会から構成されており、社会貢献、支援活動として人材育成や社会福祉団体等に対する助成活動等に取り組まれております。この度は、助成事業の一環として、会長の又吉信一様、総務主任の喜友名朝和様にご来訪いただきました。贈呈の席で、会長の又吉信一様より「コロナ禍の中、大変苦しい状況ですが、沖縄国際大学には沖縄の人材育成に貢献していただきたい。ぜひ、学生たちのために活用して欲しい」と述べられ、前津学長より「大学・学生のために有効活用させていただきます」と感謝の意を申し上げます。一般社団法人沖縄県軍用地地主会連合会様、この度はご支援頂き、誠にありがとうございました。

10月1日  
**令和3年度秋季卒業式・大学院修了式を挙行いたしました**

令和3年度秋季卒業式・大学院修了式を令和3年10月1日(金)に挙行いたしました。例年は全学部合同で挙行いたしますが、新型コロナウイルス感染防止の観点から今年度は各学部に分かれての開催でした。今年は法学部6名、経済学部9名、産業情報学部1名、総合文化学部15名の学部計31名、地域文化研究科4名、地域産業研究科1名の大学院生計5名が卒業・修了認定し、それぞれ新たなステージの一步を踏み出しました。終始和やかな雰囲気の中、ときおり笑い声もあがるなど、秋季卒業式ならではの温かな式典となりました。ご卒業、おめでとうございます。みなさまの益々のご活躍とご健勝をお祈りいたします。



10月8日  
**令和3年度特待奨学生証書交付式を行いました!**

2021年10月8日(金)、各学部において特待奨学生証書の交付式を行いました。本学の特待奨学生制度は「学業・人物ともに優秀で他の模範となる学生」という基準で選考され、授業料及び施設設備資金に相当する額が給付されます。今回、30名(法学部6名、経済学部6名、産業情報学部6名、総合文化学部12名)が交付対象と

なり、3年連続が5名、2年連続が6名の学生が選出されました。交付式では各学部からその優秀な成績と真面目な勤労ぶりに対する賛辞が述べられました。沖国大では奨学金制度をはじめ、学生の皆さんの学びや活動をサポートしています。それらを活用し、沖国大で素晴らしいキャンパスライフを送りましょう!



10月8日

**沖縄美装管理株式会社様より寄付金を賜りました**

沖縄美装管理株式会社(以下:沖縄美装)の代表取締役社長:武村周児様、副社長:武村勝児様、常務取締役:比嘉博史様、宮里光貴様が寄付金贈呈のために、前津榮健学長を表敬訪問されました。沖縄美装様は本学が委託している清掃会社で、会社設立第一号の取引先が本学とのこと。本学が開学して間もないころ、3名の清掃員から取引が開始とのこと、今日にいたるまで学内の美化環境整備にご協力いただいております。贈呈の席で、沖縄美装の武村社長より「これからの沖縄を担う学生さんのために少しでもお役に立てていただければ幸いです」とお話しがあり、前津学長より「普段より学内清掃にご尽力いただき感謝申し上げます。寄付金は、コロナ禍で困っている学生をはじめ学生支援に役立ててまいります」と感謝の意を伝えました。賜りましたご厚志は、本学の教育・研究活動の整備・充実に活用させていただきます。



10月8日

**学内カフェがオープン!**

待ちに待った学内カフェ【CafeSemicentennial(カフェ・セミセンテナール)】が、学生会館3階にオープンしました。名称には、「本学が2022年2月25日に開学50周年を迎えるにあたり、『Semicentennial(50周年)』を記念する」という想いが込められています。全面ガラス張りですり外光が差し込む店内は、白を基調としたスタイリッシュなデザインでおしゃれな空間が広がっています。また、3階にあるため、眺めもよく、リラックスした時間を楽しめます。メニューはミニマフィン、ケーキやアイスなどのスイーツのほか、珈琲や紅茶、ラテなどのドリンクをはじめとした多数の品ぞろえとなっております。また、ホットサンドやサラダなどの軽食も用意されています。オープン開始と同時に多くの女子学生が訪れ、メニューを見ながら楽しそうに選んでいる姿が多く見られました。多くの学生や教職員がゆったりとくつろげる空間となっております。



店長さんのコメント

ソースも含めてすべて手作りにこだわっています。オープンしたばかりなのでオペレーションに慣れないところもありますが、おいしい商品を提供していきますのでぜひお越しください

11月5日

**国際ソロプチミスト沖縄様より奨学金の贈呈がありました**

国際ソロプチミスト沖縄クラブの阿賀嶺久美子会長をはじめとする皆様、本学に奨学金を贈呈するために来学されました。国際ソロプチミストとは、女性の人権と地位向上のために活動する世界的な奉仕団体で、沖縄クラブでは県内大学に在学する成績優秀な女子学生を支援し、県の振興開発を担う人材を育成するために奨学金を贈呈されているとのこと。今回奨学金を授与されたのは、地域環境政策学科4年次の高江利鈴奈さんと英米言語文化学科3年次の新里花野さんです。「将来、海外で活躍できるような人材になるために頑張っている。そのためにこの奨学金を活用します」(高江利鈴奈さん)、「琉舞を今後も継続し、国内外に文化を発信できるような人材になりたい」(新里さん)と感謝と抱負を述べました。阿賀嶺会長より「2人の優秀な学生に奨学金を贈呈でき光栄です。これからも明るい未来に向かって頑張ってください」と激励の言葉が述べられ、前津学長は「奨学金の贈呈に感謝いたします。本学は来年50周年を迎えますが、今後も優秀な学生を育て地域発展に努めていきます」と感謝の意を伝えました。



11月7日

**秋のオープンキャンパスを開催しました!**

11月7日(日)に秋のオープンキャンパスを開催しました! 学科紹介や体験講座、在学生によるキャンパスツアー、個別相談など様々なプログラムを実施しました。オンラインではお伝えできないリアルな「沖縄国際大学」を体感していただけたかと思えます。7月に行ったオープンキャンパス同様、入口での検温や座席指定をはじめ、新型コロナウイルス感染防止対策を行ったうえで開催しました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。



2022年1月19日

**本学後援会が食糧支援(フードバンク)を行いました**



新型コロナウイルスの感染拡大により、飲食店を始め、さまざまな業種への休業・時短要請が続き、アルバイト収入やご家族の収入の変化により、困窮する学生が増えています。

沖縄国際大学後援会(在学生の保護者と教職員で組織された団体)は1月19日(木)から2日間、学生支援の一環として、新型コロナウイルスの影響に関わらず、経済的に困窮している学生を対象に食糧支援(フードバンク)を行いました。また、留学生にも対象を広げ、少しでも多くの学生に届くようにしました。支援を受けた女子学生は、「バイトが減って生活が厳しい。食費が支出の大幅をしめているので助かります」などと、安堵の表情をしていました。

12月6日

**【ボウリング部】男子が全日本選手権大会で初優勝、女子も準優勝!**

12月4日~6日に京都府のキョーイチボウル宇治で開催された第59回全日本大学選手権大会に本学の男女ボウリング部が出場し、男子が初優勝、女子が準優勝を成し遂げました。男子は、5人チーム戦に西島本有生さん、平良直也さん、新垣夏輝さん、登川陸さん、中里隆和さんが出場し、15552点を獲得しての優勝。女子は、2人チーム戦に大城美幸さん、許田美香さん、仲里葵さんが出場し、6032点で惜しくも優勝は逃しましたが、3位で臨んだ決勝では最後まで諦めず逆転し2位を掴み取りました。ボウリング部は、前大会に続き、タイトルを獲得。同大会のチーム戦において昨年は女子が優勝、男子が準優勝の成績を残しており、今後も活躍が期待されます。



2022年2月18日

**リッチモンド大学とオンライン交流会を行いました!**

未だ続くコロナ禍の影響で、なかなか留学できない状況が続いている中、留学を目指している学生を少しでもサポートしようとアメリカ・バージニア州にあるリッチモンド大学とオンライン交流会を行いました。

リッチモンド大学は本学の協定校ではありませんが、日本語教育プログラムが充実しており、多くの学生が熱心に学習しています。本学からは国外協定校留学を予定していた学生3人とリッチモンド大学からは日本語を副専攻で学んでいる3人の学生が参加しました。

最初に、グローバル教育支援センター所長の兼本敏先生による開会の挨拶があり、次に参加者それぞれが学習している言語で自己紹介をしました。その後、前半30分は日本語セクション、後半30分は英語セクションと言語を分けて、全員でディスカッションを行い、ディスカッションでは、一日のスケジュールや勉強時間、大学で何を勉強すべきか、どんな授業を取っているのかなど、お互いに興味のあることについて話しました。全プログラム終了後は、リッチモンド大学日本語プログラムディレクターの鈴木明先生による閉会の挨拶で締めくくりました。

今回参加した学生からは「ネイティブと英語で話せてよかった。リッチモンド大生の日本語力に圧倒されたけど、日々の勉強量や将来のことをもっと真剣に考えるきっかけになった」「ただ質問するだけではなく、相槌などもっと会話を続ける努力が必要だと思ったけど、英語で会話がが続いたときは嬉しかった」「早く聞き取れない場面も多かったけど、ネイティブの方とこんなに長くお話したのは初めてで、またリッチモンド大生の日本語に対する熱量や会話に対する積極性を見習わなければならないと思った」「留学生活での授業についていけるよう言語だけでなく、世界の時事ニュースについて学びたいと思った」など前向きな感想がたくさんありました。同じように言語を学習している者同士、刺激や学び、学生生活や積極性など言語以外に関することでも気づきがたくさんあり、今後のモチベーションにもなったようです。グローバル教育支援センターでは、今後も留学や国際交流に興味のある学生をサポートするため継続できるよう取り組んで参ります。



3月10日

**ウクライナ情勢に関する学長メッセージを発信**

沖縄県は去る第二次世界大戦において国内では唯一の地上戦が行われた地です。沖縄国際大学はその沖縄に「真の自由と、自治の確立」を建学精神に掲げ、「地域に根ざし、世界に開かれた大学」をキャッチフレーズに、共創的なあゆみ続けてきました。

このような背景を持つ本学は、世界の多数の国々が懸念を表明する中、ロシアによる一方的な力によるウクライナ侵攻に憤りを強く感じます。これらの暴挙による侵攻の即時停止と平和的解決を強く求めます。

2022年3月10日  
 沖縄国際大学 理事長・学長 前津 榮健

3月18日

**令和3年度 卒業式・大学院修了式を執り行いました**

2022年3月18日(金)、本学講堂兼体育館にて第50回卒業式並びに第24回大学院修了式を執り行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで全卒業生が一堂に会し、式が始まりました。

前津学長から各学部の卒業生代表に学位記が授与され、卒業生に向けて告示が述べられました。その後は、卒業生を代表して企業システム学科の友利光来さんからの答辞、地域行政学科の糸数蓮輝さんから卒業生の記念品贈呈があり、式を終えました。本卒業式の様子はインターネットを通じてライブ配信され、卒業生のご家族を含む多くの方にご覧いただきました。



3月28日

**沖縄国際大学「書道部」入選・入賞**

この度、沖縄国際大学書道部の学生らが、下記の2つの大会においてそれぞれ入選・入賞を果たしました。

**1.「第73回沖展」(主催:沖縄タイムス社)**

沖展の書芸部門において下記3名の学生が入選を果たしました。本学書道部の歴史において現役部員が同時に3名も入選するのは初めてのこと。

- 山城篤和さん(法学部地域行政学科4年次)
- 西原莉緒さん(総合文化学部日本文化学科3年次)
- 名嘉真明日さん(法学部法律学科3年次) 名嘉真さんは2度目の入選。

**2.「第82回山日YBS席書き大会」**

(主催:山梨日日新聞社、山梨放送、同大会運営委員会)  
 同大会は全国から約1万人が参加する書道大会であり、上位33名だけに与えられる特別推薦賞のうち「創業150周年記念賞」を下記の学生が受賞しました。沖縄県内から唯一上位入賞とのこと。

- 浦崎はるなさん(総合文化学部日本文化学科2年次)



左から山城 篤和さん、西原 莉緒さん、名嘉真 明日さんの作品



4年ぶり2度目の上位入賞に輝いた、浦崎はるなさん

3月29日

**仲里早織(大山ゼミ)さんが上級情報処理士・会長賞を受賞**

産業情報学科では全国大学実務協会認定「上級情報処理士」「ウェブデザイン実務士」に対応した資格カリキュラムを配置しています。コンピュータシステムと情報通信技術について理解をふかめるとともに、企業などにおける情報実務上の課題を把握し、その解決に向けて自らソフトウェア操作、インターネット活用、データ管理などを行うことができる、総合的な実践力をもつ知識・技術を習得することができます。

全国大学実務協会では、会員校の学生を対象に会長賞の授与をおこなっています。授与の条件は、資格を取得するための教育課程の成績が優秀で、学部・学科の成績も優秀であること、そして、取得した資格の職業的資質にとくに恵まれていることの2点です。

2021年度は産業情報学科の仲里早織(大山ゼミ)さんが会長賞を受賞しました。

仲里さんは、上級情報処理士、ウェブデザイン実務士の資格取得に関連してITパスポート試験、CGクリエイター試験などに合格しており、大学の成績(GPA)も高く優秀な成績を収めています。また、大学で学んだ知識・技術をもとに株式会社パブコンにてデザイナー職(CGデザイナー)として内定を頂いています。これが評価されての受賞となりました。



## 1

## 女子サッカー部

部長

比嘉 愛夏

(ヒガニイナ)

## 入部方法

主将にメール、インスタのDM、若しくは直接グラウンドへ

## 部活動場所

沖国のグラウンド



Instagram  
okikoku\_soccer

私たち女子サッカー部は部員12名で活動しています。水曜日と金曜日朝7:00~8:30まで、学内のグラウンドにて、練習を行っています。

また、年に数回、大会にも出場しており、一昨年、昨年は九州大会にも出場しました。先輩・後輩の仲が良く、どこの部活にも負けないくらい楽しい部活です!!

一度体験に来てみたらその楽しさがわかるはずです!女子サッカー部に入部したら充実した大学生活が送れること間違いなし!経験者初心者問わず誰でも大歓迎です!!少しでも興味のある人はいつでも遊びに来てください!お待ちしております!



## 2

## 陸上競技部

部長

玉城 孝介

(タマシロ キョウスケ)

## 入部方法

玉城孝介  
20BB073@okiu.ac.jp

橘芽生  
20AD543@okiu.ac.jp  
上記どちらかにメールするか、直接グラウンドにお越しください!

## 部活動場所

沖国のグラウンド



私たち陸上競技部は、日々切磋琢磨しながら練習に取り組んでいます。

陸上競技は、『走る』というシンプルなスポーツです。しかし4年間続けることで、確実に成長につながります!「自分と向き合い限界まで突き詰める」、「目標に向かって仲間と全力で頑張る」、「自己ベストを更新できた時に得られる達成感」など、これらの経験が自信になることは間違いありません。練習中は部員同士で励まし合いながら真剣に、それ以外では、学年に関わらず仲良く楽しく過ごしています。さらに OBOG の方との交流もあり、人間関係の幅が広がり、大きな財産を手にすることができます!サークルに所属して楽しく過ごす事もいいですが、部活でしか味わえない“最高な4年間”を私たちと一緒に過ごしてみませんか?

私たちと一緒に、楽しみながら頑張ってくれる皆さんを部員一同お待ちしております!



## 3

## 鼓舞楽団 浦風

部長

安里 百合花

(アサト ユリカ)

## 入部方法

練習場、もしくはTwitter、  
InstagramにDMください!  
→@okiurakaji\_eisa

## 部活動場所

体育館下剣道場  
(火・木・金 18:30~  
21:00)



twitter  
@okiurakaji\_eisa



Instagram  
okiurakaji\_eisa

私たちは創作エイサーサークル鼓舞楽団 浦風(うらかじ)です。

普段は、結婚式の余興や修学旅行生に向けて、または祭りなどのイベントで演舞を披露しています。学生らしく楽しく活気溢れた演舞で伝統継承に貢献していこうと日々練習に励んでいます。「鼓」「舞」「楽」はそれぞれ沖縄の芸能に欠かせない、太鼓・踊り・唄三線を、「浦風」には“潮風の爽やかさのように感動の風を起こしたい”という気持ちが込められております。また、「浦」には沖縄の古語で「国」や「島」といった意味もあり、“巻き起こした感動の風を沖縄全土に届けたい”という願いも込められています。



## 4

## 放送研究部

部長

砂川 桜渚

(スナカワ ロナ)

## 入部方法

部室に来て入部届けを記  
入してもらいます

## 部活動場所

サークル棟317号室



「放送部」と聞くと、アナウンスや朗読のイメージが強い方が多いと思いますが、放送研究部では、アナウンスや朗読だけではなく、映像・音声ドラマやラジオ、MV、音声CMや映像CMも制作しています。声で表現する方はもちろん、自分で映像作品を作りたい!という方はぜひお越しください。部員には経験者が少なく、ほとんどが初心者ですが先輩達のアドバイスや同級生と協力しながら活動しています。全国大会に年に一度参加しており、去年はラジオドラマが本選に通ることができました。興味のある方はぜひサークル棟317号室に遊びに来てください!



## 体育系サークルの主な実績

陸上競技部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第71回沖縄陸上競技選手権大会兼国体選考会 男子一般5000m決勝 3位:池田一生</li> <li>●第25回 春季記録会 男子5000m 4位 伊是名祐希</li> </ul>
ラグビー部	●九州大学ラグビーリーグ 出場
女子サッカー部	●第29回九州大学女子サッカー選手権大会 出場
卓球部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●天皇杯皇后杯 2021年全日本卓球選手権大会(一般・ジュニアの部) 中村陽菜 出場</li> <li>●第6回オール西日本大学卓球選手権大会(個人の部) 川上大和 予選リーグ2位通過 決勝トーナメント1回戦敗退</li> <li>中村陽菜 予選リーグ2位通過 決勝トーナメント2回戦敗退</li> <li>伊沢拓郎・仲宗根賢人・平山良一郎・仲宗根深月・何盛英恵・上原七瑠実 出場</li> </ul>
空手道部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第69回全九州大学空手道選手権大会 男子団体形:優勝 女子団体形:優勝</li> </ul>
ボウリング部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第48回 会長杯争奪ボウリング大会 男子個人戦6G:優勝 登川陸</li> <li>●第56回 全沖縄ボウリング選手権大会 個人戦男子:1位 比嘉巧真 総合男子:1位 比嘉巧真</li> <li>●第53回 全日本新人ボウリング選手権大会 男子個人戦:9位 西島本有生 女子個人戦:7位 大城美幸 9位 許田美香</li> <li>●文部科学大臣杯第58回全日本大学ボウリング選手権大会 男子:準優勝 女子:優勝(初出場初優勝)</li> <li>●第48回 全沖縄選抜ボウリング選手権大会 男子:3位 西島本有生 女子:4位 大城美幸</li> </ul>

## 文化系サークルの主な実績

吹奏楽部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第45回沖縄県アンサンブルコンテスト 銀賞</li> <li>●第15回定期演奏会 開催</li> </ul>
KailuaHula OKIU	●かじまや一祭:出演
琉球風車	●かじまや一祭:主催
鼓舞楽団 浦風	●かじまや一祭:出演
琉球芸能文学研究会	●双葉踊り 公演

[2021年4月1日付採用] ①最終学歴 ②専門分野

法学部 地域行政学科 講師

山中 雄次 (やまなか ゆうじ)

- ①静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科博士後期課程修了 博士(学術)
- ②行政学、公共政策

総合文化学部 日本文化学科 准教授

安 志那 (あん じな)

- ①東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士課程修了 博士(学術)
- ②「満洲」移民文学、日韓比較文学、メディア研究

総合文化学部 社会文化学科 准教授

新里 貴之 (しんざと たかゆき)

- ①鹿児島大学大学院人文社会科学部研究科博士後期課程修了 博士(学術)
- ②南島先史時代研究、葬墓制研究、物流研究

[2021年9月15日付採用] ①最終学歴 ②専門分野

経済学部 経済学科 講師

吉原 千鶴 (よしはら ちづる)

- ①立教大学大学院博士課程後期課程修了 博士(経済学)
- ②経済学史、経済思想史

総合文化学部 人間福祉学科 准教授

宮里 新之介 (みやざと しんのすけ)

- ①九州大学大学院人間環境学府人間共生システム専攻臨床心理学指導・研究コース博士後期課程 単位取得後退学 臨床心理修士(専門職)
- ②臨床心理学、障害児・障害者心理学

教務部 研究支援課 沖縄経済環境研究所 研究支援助手

玉城 愛梨 (たましろ あいり)

- ①沖縄国際大学大学院地域産業研究科修士(経済学)

教務部 学務課 係員

知念 萌 (ちねん もえ)

- ①沖縄国際大学総合文化学部日本文化学科卒業

教務部 学務課 社会福祉実習助手

宮城 千恵子 (みやぎ ちえこ)

- ①沖縄国際大学総合文化学部人間福祉学科卒業

教務部 研究支援課 沖縄法政研究所 研究支援助手

神谷 めぐみ (かみや めぐみ)

- ①琉球大学大学院人文社会科学部研究科総合社会システム専攻修士(法学)

昇任 教育職員 [2021年4月1日付昇任]

新 職 名	氏 名	旧 職 名
法学部 教授	伊達 竜太郎	法学部 准教授
経済学部 准教授	平敷 卓	経済学部 講師
産業情報学部 教授	岩橋 建治	産業情報学部 准教授
産業情報学部 准教授	慶田花 英太	産業情報学部 講師
産業情報学部 准教授	比嘉 一仁	産業情報学部 講師
総合文化学部 教授	下地 賀代子	総合文化学部 准教授
総合文化学部 准教授	奥山 貴之	総合文化学部 講師

[教育職員: 2021年10月1日付昇任]

新 職 名	氏 名	旧 職 名
経済学部 准教授	渡久地 朝央	経済学部 講師
総合文化学部 准教授	岡野 薫	総合文化学部 講師



## ホームページをリニューアル

大学イメージとユーザビリティの向上を目指し、デザインを一新し、レイアウト等の変更を施した新ホームページを2022年1月13日(木)に公開しました。

新ホームページでは、「NEWS & TOPICS」と「EVENTS」項目を拡大し、新たに「PICK UP CONTENTS」項目を設けるなどして、アップデートされた情報が目に留まりやすいよう工夫をしました。また、ページ下部に主なページのリンクをサイトマップとして表示しております。

これからも沖縄国際大学が見えるサイトづくりを心がけ、情報・コンテンツ発信をしていきます。今後とも、本学公式サイトをご覧くださいませよう、よろしくお願いたします。

## 大学行事案内(2022年4月～9月)

4月 1日(金)	入学式、第1回新入生・編入生オリエンテーション
4月 2日(土)	在学生オリエンテーション
4月 2日(土)～4月 5日(火)	前期・通年科目Web仮登録期間
4月 4日(月)	第2回新入生オリエンテーション、外国人留学生オリエンテーション
4月 7日(木)	前期講義開始
4月 7日(木)～4月13日(水)	前期・通年科目登録調整期間
7月 3日(日)	オープンキャンパス
7月17日(日)	オープンキャンパス
7月29日(金)～8月 4日(木)	前期試験・補講期間
8月 8日(月)～9月14日(水)	夏季休業

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大学行事に変更が生じる場合があります。  
変更については、本学ホームページでお知らせします。

## OKIU SNS

大学公式SNSでは随時情報を発信中です。LINEでは入試広報関連情報を、InstagramとTwitterでは大学構内の風景やキャンパスライフを、Facebookでは保護者や卒業生向けの情報を中心に更新しています。ぜひ一度ご覧になってみてください。



LINE  
@okikokudai



Instagram  
@okikokudai\_pr



twitter  
@okikokudai\_pr



facebook  
@OKIU.PR

平和・共生 個性・創造 自立・発展



# 沖縄国際大学



編集 | 事務局広報課 〒901-2701 沖縄県宜野湾市宜野湾2-6-1 TEL.098-893-7629 Email : pubchr@okiu.ac.jp

印刷 | 株式会社 東洋企画印刷